



大塚壱路くん (令和3年2月生まれ)

末っ子君。超甘々♡パワフル に成長中!

(母:加奈)



石山楓恋 ちゃん(上) 遊音 ちゃん(下) (令和4年3月生まれ) (令和5年11月生まれ)

我が家のアイドル♡毎日癒や しをありがとう! だいすき (父:翔、母:奈月)



花見颯太くん (令和4年10月生まれ)

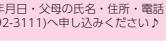
生まれてきてくれてありがと う

(父:健一、母:唯)



齊藤廣くん (令和5年2月生まれ)

いつもニコニコ笑顔の廣! これからも健やかに育ってね (父:誠、母:彩加)





## 薬で世界中を笑顔に

秋山郁さん 釈迦小学校6年生

私は将来、新薬の開発者になりたいと考えていま す。自分も病気でつらい思いをしたことがあるの で、薬を開発したいと思うようになりました。今、 薬では治らない病気も、治せるような薬をつくりた いです。そのためにも、勉強をがんばろうと思って います。

立派な薬の開発者になって、世界中の研究者と協 力しながら薬を開発し、薬の力で世界中のたくさん の人々に笑顔を届けたいです。





と振り返ります。

「補手」

ムの柱に

rさせた秋葉さん。卒 4のリトル古河で野球

学名電高等学校に入学。 春夏の甲子園出場24回を誇る名門、 ッチャ をしていた父親の影響で野球を始 秋葉奨太さん(8歳・本町) 昨年の夏には正捕手として 愛知工業大

野球人生や今後の夢について話を伺いました. 3度目の甲子園に出場した秋葉さんに、

これまでの

う手紙をもらい、

この言葉が野球を

ない部分を補うのが君の役目」

全国高等学校野球選手権大会に3年連続出場 す。その際に目に留まり、 『捕手』 愛知遠征でのプ 

に、野球に専念できる環境下で厳しい練習に取り組んできました。その成果が実を結び、夏の甲子園3年連続出場という偉業を達成します。最後の夏は副キャプテンとしてチームを引っ張り、憧れだった甲子園の打席にも立ちました。残念ながら1回席にも立ちましたが、チームの雰期別退となりましたが、チームの雰期気も良く、伸び伸びプレーできた なっていると言います。続ける上で秋葉さんの心の支えに 入学後は同じ志を持っ た仲間と共

習に励んで 秘め、プロの道を目指して今日も練 と語る秋葉さん。恩師の言葉を胸に ことが勝利につながればうれしい」キャッチャーとしてチームを支える 「自分の成績の良し悪しより、



▲仲間とつかんだ勝利の瞬間



▲長打力も武器の一つです



▲捕手としてチームをまとめました

広報古河 2024.2 - 12 13 - 広報古河 2024.2